



学校だより

<家庭数> 第2号
令和3年4月30日発行
品川区立第四日野小学校
校長 島崎 一江
<http://school.cts.ne.jp/hino4/>



風薫る5月 「一期一会」

校長 島崎 一江

風薫る5月を目前に、かむろ坂の桜はみごとな葉桜となり、ツツジが色鮮やかに咲き誇っています。四日野小の鯉のぼりも、元気よく泳いでいます。

先日、4月28日には1年生を迎える会がありました。1年生は上級生の大歓迎を受けました。例年ですと、体育館で一堂に会して行われるのですが、緊急事態宣言を受け、残念ながらリモートで行いました。上級生である2年生から6年生は教室で観てくれている1年生に歓迎の気持ちを一生懸命工夫して伝えていました。1年生は画面上からではありますが、上級生の気持ちを受け取ってくれているようでした。とてもうれしそうな笑顔で画面を観ていました。1年生、本格的に四日野っ子の仲間入りです。

学校では、毎年、離任式が行われます。昨年度で本校を去られた教職員をお招きして、2年生から6年生がお別れの会をします。お世話になったことに感謝の気持ちを手紙にしたためて伝えます。今年度になってまだ1か月ほどしか経っていませんが、毎日会っていた方がいないとやはり寂しいものです。この離任式で再開したときに感じる懐かしさと、同時に、別れを実感する悲しさは、何とも言えません。まさに「一期一会」を実感する日です。「一期一会」とは、茶道に由来する言葉で、茶会に臨む際の心構えです。「その機会は二度と繰り返されることのない、一生に一度の出会いであることを心得て、互いに誠意を尽くす」ことを意味しています。私たちは、縁あって出会い、同じ時を同じ空間で過ごしています。そして、「袖振り合うも他生の縁」と申します。「袖振り合う」のみならず、毎日一緒に学校で遊んだり勉強したりして過ごしている私たちには、きっと深い縁があるのでしょう。例年ですと、これも体育館で一堂会して行うところなのですが、残念ながらリモートで行うことにしました。でも、きっと、心は通じるはずです。5月7日金曜日、「一期一会」をかみしめてくれることでしょう。

明日から5日間のお休みがあります。風薫る5月、美しい季節がやってきました。コロナに負けるわけにはいきませんので、思い切り羽を伸ばすことはできませんが、コロナ感染防止に努めながら、清々しい風で心を満帆にして過ごしていきたいものです。いずれにせよコロナの収束を願うばかりです。よろしく願いいたします。